

ハビカム

臼杵市

観光資源

国宝臼杵石仏、フグ料理、歴史ある町並みなどに代表される臼杵市の観光資源は、旧野津町との合併で一層多彩になっている。一方で既存の名所の人気には陰りものぞく。「培ってきた魅力に甘んじることなく、異業種異分野の連携で新たな魅力の発信を」。危機感を夢を抱く若手リーダーたちが広い視野で地元を語った。

気軽な食・旅と新しい土産を

滞在時間どう延ばすか

安部 今日には臼杵の観光の現状を知って、課題や将来の方向性、夢について語り合えたらと思います。私は入社23年目で駆け出しは事件記者。別府支社時代は八湯や路地裏散歩などを取材しました。臼杵に対するイメージは観光地としての素材をたくさん持っている潜在能力の高い地域だなと。自己紹介をお願いします。

古谷 まちなみガイドをしています。臼杵にもっとお客を呼んで、自分ももうかる方法を模索中です。臼杵には住んでいる人が気付いてない魅力がある。アイデアを出すので、力を貸してください。

三浦 四季亭みえの三重野です。臼杵といえばフグ、石仏、二王座と言われるくらいなので、もっとフグを盛り上げられるアイデアはないかと思っています。

安野 臼杵に帰ってきてもうすぐ11年。大学卒業後はマイカル九州(当時)というスーパーで働いていました。臼杵市は杵築市とよく間違えられていたことが、最近では知名度が上がってきた気がする。臼杵石仏の入館者数が減っているということでもできた異業種でつくる「臼杵市観光振興戦略会議」の委員長をしています。臼杵の観光といえば、町並み、石仏、海岸や鎮南山に白馬溪、野津の野菜などいろいろあるのに、それぞれがつかっていない。フグだけ食べに来て石仏に行かないとか。資源をつないで、いかに滞在時間を延ばしていくかが課題



若手リーダー
臼杵市観光振興戦略会議委員長
安野祐二さん

ではないかと思っています。

吉良 臼杵の深江で育ちました。山口市にある大学に行ったんですが、周囲が山で海がすごく恋しくなり、臼杵で働きたいと帰ってきました。市役所で働き始めてずっと観光に携わっていて、臼杵にはいろいろな観光資源があると分かってきました。年齢の高い人を対象にしたものが多いいので、もっと若い人を呼び込める町にしたい。親が漁師でタチウオを捕っているんですが、臼杵のタチウオの知名度も上げていきたいです。

石仏入館者10万人減少

安部 現状を把握するために、吉良さんに観光に関するデータを持ってきました。

吉良 有料施設の統計データを毎月とっていますが、臼杵石仏の入館者数は平成14(2002)年度は23万6195人、23(2011)年度は13万5340人と10万人減っています。臼杵市は本年度を観光元年に位置付け、これからの市の観光を考える戦略会議を立ち上げました。有料施設の観光客数は減少しているんですが、NPO法人「ツーリズムうすき」のデータでは毎月のガイド数は増えていて、町を歩くお客さんが増えているのが現状です。観光バスの台数は目に見えて減っています。

安部 団体客が減っているということですね。
安野 臼杵での滞在時間は2時間くらいとこです。まちなみガイドと歩いてお土産を買って。朝市とかフンドーキンや富士葛の工場見学、船の進水式などと組み合わせると、何とか6時間くらい過ごしてほしい。10年前と比べると町中にお店は増え、人が入って来ているという印象はあります。

古谷 臼杵市は通過点に思われている気がする

ます。石仏を見たり麓めぐりをしたら、夕食は佐伯市で…とか。朝から晩まで臼杵を楽しむツアー商品があるといふんです。

三浦 ふぐ列車や日豊海岸臼杵ふぐ祭りといったイベントをしていますが、年々お客さんが減少しています。フグ料理店と卸業者でつくる「ふぐの郷臼杵」の会長に話を聞くと、フグ料理店が増えてきたのは昭和40年ごろからで、町おこしの一環として臼杵ふぐの知名度が上がってきたようです。10年ほど前に入会しましたが、今は何か新しいことに取り組みなくてはならないという思いが強いんです。無理にイベントをしなくていいという人もいますが、臼杵煎餅以外にも、ふぐの郷が作っているお土産があると紹介できるようにしなければいけない話だと思います。

安野 ふぐの郷に頑張ってもらえたらいいですね。タチウオも使ってもらえたらいいですね。
三浦 フグ料理店だけで話をすればいいという時代ではないと思います。異業種とも話をし、臼杵市全体を盛り上げていかないと。日出町の城下かれいまつりみたいに、ふぐ祭りをもっと大きくしたいんです。

関心が高いB級グルメ

安部 ガイドから見た現状はどうですか。

古谷 石仏は年配者のリーダーが多く、どうしたら若い人が来てくれるのか悩んでいます。バックツアーが多いですが、歴史に興味がある個人からの求めが増えていきます。歴史ブームも手伝って、この10年くらいで町歩きをする人は増えました。大河ドラマの登場人物にゆかりのある関連施設に来る人は多いですね。石仏は外国人ツアーも多いですが、短時間で帰ってしまう。引き留めたいけど、言葉が通じない



若手リーダー
臼杵市産業観光課
観光文化グループ主事補
吉良麻美さん



若手リーダー
臼杵まちなみガイド
古谷美和さん

(笑)。パンフレットに英語と中国語、韓国語があります。スペイン人が来たこともあって。

三浦 町を歩くという文化は最近ですね。以前、杵築や佐伯、臼杵などの町歩きマップを作ったことがありますが、臼杵は昼ご飯をどこで食べてもらうかにすごく悩ましました。職場の女性80人くらいにアンケートをしたら、「臼杵はフグの町だ」という印象はあるし、食べたいけど値段が高い。それだけではわざわざ行かない」と。「安く食べられたり、B級グルメがあったら行きたい」という声がありました。B級グルメに対する関心は高いけど、フグはB級ではない……。皆さんが普段食べているもので、何かB級グルメになるものはないでしょうか。海産物は県南がおいしいと思いますが、どうしても湯布院、別府、杵築といった強烈な観光地にお客を持っていかれてしまう。臼杵の魅力をどう打ち出すかです。

観光誌全部が同じ情報

安部 統計上の観光客数も減り、お店をしている人も客が減っていると感じているのに、まちなみガイドたちは増えているという。この矛盾した状況をどう見ますか。

古谷 観光客の嗜好が変わってきている。
三浦 うすき竹育はにぎわっていますが、お金を落とすと帰る人は少ない。

安部 それで滞在時間の短さによるものですね。

吉良 イベントの時に無料にする施設もありますが、訪れる人は減っていますね。

安部 今年が観光元年と聞いて危機的状況なのかなと思っていましたが、そうでもないんです。

古谷 何かしないと衰退していくだけです。フ

グは有名、石仏は国宝とあぐらをかいていたから、他のいい素材が埋まってしまったんだと思います。先日、タウンガイドの雑誌を4誌見ましたが、臼杵のページの写真は、石仏や稲葉家下屋敷と全部同じ。整備した臼杵公園とか、臼杵煎餅に新しい味があるとか、もっと新しい情報があるのに、これでは魅力が伝わらない。発信する側が地元の良さを分かっているのかなと思ってしまいます。

安野 野津と合併して7年。学校再編で地元の高校が減り、他市の高校に行って市外に進学や就職したら、臼杵のことを知らないままになってしまいます。観光も大事だけど、これから先の子どものために臼杵で働けるように地元を盛り上げていかないと。昨年、祇園まつりのおはやしを練習を各町の軒下で見せました。汗を流す姿を見たら、本番を見に行きたくなる。地元のイベントを子どもの時から肌で感じていたら、祇園の季節になったから見に行こうかなと。祭りに合わせて黄飯のカレーや、臼杵の海産物と野津のシシや野菜を七輪で焼くといった企画もしました。

三浦 ふぐ祭りも知名度を上げたら臼杵の観光にも個々のお店のためにもなると思います。

安野 昨年11月は臼杵の町をノルディックウォーキングするというイベントをやりました。11月29日は「いいふぐの日」と銘打って何かしたら面白いんじゃないかな。

三浦 同じことを続けていたら、お客にもメディアにも飽きられてしまう。みそや酒の大きな企業があるから、一緒に盛り上げる方法はあると思うんですけどね。



若手リーダー
ふぐの郷臼杵(ふぐ四季亭みえ)
三浦芳樹さん

新しいスイーツできないか

古谷 若い人の会をつくったらいいんじゃない。

三浦 技術向上などのための若い料理人の会があります。伝統は守りながら新しいこともやっていきたい。臼杵のフグの特徴はその日のうちにさばいた厚い身を食べてもらおうことですが、お店に来てすぐに食えるものではないので、飛び込みのお客には予約制だと断ることもあります。

古谷 臼杵のフグ料理屋がなぜ予約制なのか知らないということですね。それも宣伝不足。

安野 昼ご飯を出しているお店もあるよね。準備ができるまで町歩きをしてと勧めるのもいいかも。

吉良 県外の大分県物産展に行くと、「臼杵といえばこれ」というお土産がないと感じます。先日借りた文化財課の資料に、稲葉藩のお菓子の本があって。絵と名前しか載っていないんですが、これで臼杵の新しいスイーツができないかと給食センターに試作品を依頼しているところなんです。ゆくゆくは民間と協力して商品を作りたいと思っています。

三浦 ふぐせんべいはありますが、ふりかけとかふぐみそとか、フンドーキンや富士葛とコラボしては呼び掛けたこともあります。

吉良 行政は特定の店の商品は宣伝しにくいですが、団体のものだとPRがしやすいです。

「きらすていっく」発案

安部 課題の一つはPR不足ということが分かりました。異業種間のやりとりも足りない。臼杵の魅力を知らないまま臼杵を離れる人も増えている。

安野 地元でも郷土料理「きらすめし」を知らない人はいる。棒に刺した魚におからをまぶ

して揚げる「きらすていっく」を思いついたんだ。

吉良 それいいですね。
古谷 食べながら、石仏散策するとか。
三浦 アンケートに、「フグを気軽に食べたい」という言葉がありました。話を聞いていて、臼杵には「気軽にもの」、気軽に楽しめるものがあっているのかなと感じました。材料はあるのに形になっていない。

祭りの日程調整しよう

安部 ここからは一時的ではなく、恒久的に人が訪れる町にするために何か必要かを話したいと思っています。

吉良 戦国時代や武将、キリシタン、フグとかをテーマに、いろんな人が気軽に楽しめるツアーがたくさんあればと思います。お屋敷の庭の花や昆虫を楽しむツアーとか。子どもたちに臼杵をよく知ってもらい取り組みも欲しいです。ジオパークも推したい。電車の不便さを逆手にとって、降りたら1時間はここで過ごさないと迎える来ないという宣伝方法もありかなと(笑)。
安野 海も山も歴史もあって素材はあきるくらい。一つ一つを磨き上げていけば光るものがあるはず。これから必要なのは横のつながり。若者が情報を交換する場をつくらせ、広域での連動。佐伯のお寿司を食べに行き人にならうって臼杵に寄ってもらうか。臼杵から佐伯に行く最終電車は23時台はあるが、フグのシーズンだけでも深夜バスを出すとか。

古谷 臼杵と野津で祭りの日程がぶついている時があります。

安部 調整ができれば、どちらも訪れることができて滞在時間も延ばるかもしれません。お土産の話はどうでしょうか。

三浦 フグのコラーゲンを使った化粧品とか、一つの店を出しているものはありますが、ふぐの郷として出した方が市のイメージ作りにつながるのではないかと思います。フグ以外の水産資源も豊富ですから、いろいろ考えたい。

三浦 観光のキーワードは三つあって、一つは「食」。それから「健康」。一般的に観光地は冬は駄目と言われますが、マラソンやウォーキングのシーズンは冬。話に出たノルディックウォーキングの取り組みを大々的にやれば人が集まるかもしれません。それから「女性」、特に今は13世代。おいしいものを食べたい娘と孫、元気で金も時間もある母親をいかに動かすかです。歩いたらお腹が減って食事に行くと、連想ゲームのように考えていけば、いいアイデアが出るかもしれません。

恒久的に人来る仕組み

安部 皆さんの話から浮かぶ課題と今後の観光浮揚のキーワードは「連携」でしょうか。加えるものがあるとすれば。
吉良 「気軽に」
古谷 気軽に買える土産、行ける店や観光地。臼杵に必要です。

三浦 そういえば、子連れで楽しめる場所がないと言われたこともあります。
三浦 福岡県糸島市のカキ小屋は人気があって、カキを食べるためだけに2時間くらい待つ。子どもは自分で焼いたりするのが好き。臼杵にはきれいな海岸もあるので、海産物でもイロシジでも気軽に焼いて食べられる仕掛けをとか。成功すれば、恒久的に人が来るんじゃないでしょうか。



コーディネーター
大分合同新聞記者
安部亮

手のひらに、明日をのせて。

■「応援学割」について【適用条件】(X)①「タイプXi にねん^{※2}」(無料通信分なし)+②「Xiバケ・ホーダイ ライト」または「Xiバケ・ホーダイ フラット」または「Xiバケ・ホーダイ ダブル」または「Xiバケ・ホーダイ for ジュニア^{※3}」(FOMA)③「タイプシンプル バリユー^{※4}」(無料通信分なし)+④「ファミ割MAX50^{※2}」または「ひとりでも割50^{※2}」+⑤「バケ・ホーダイ シンプル」または「バケ・ホーダイ フラット」または「バケ・ホーダイ ダブル2」または「らくらくバケ・ホーダイ^{※3}」※1「応援学割2012」を契約された回線ではお申込みできません。その他の過去の学割を契約された回線、かつ本割引申込対象者は、Xi契約の場合に限りお申込みになれます。※2 契約期間2年単位で自動更新。更新後を含む契約期間内の途中解約金9,975円。※3 パケット定額サービスの割引は適用されません。基本使用料のみの割引となります。※4 FOMA対応機種を「バリユーコース」でご購入の契約回線などが対象です。※3歳以上小学生未満のお子さまおよび当社が指定する学校の学生およびその家族(新規契約と同時に、本割引をご契約の学生と同一「ファミリー割引」グループにご加入)が対象です。※割引対象として登録されたご利用者1人につき1回線に限ります。※割引条件を満たさなくなった場合、本割引は廃止となり、受付期間中であっても再申込はできません。※本割引終了後は自動的に通常の料金で適用されます。※「Xiスマホ割」がありとう10年 Xiスマホ割ご契約中の場合、本割引お申込みと同時に廃止となります。※新規契約などの際に必要な書類とは別に、学生確認書類として学生証/生徒手帳/在学証明書(いずれかが必要です(中学生以上の方は、健康保険証/パスポートなどの書類で年齢を確認させていただきます))。※「家族」としてお申込みされる場合、割引対象となるご利用者の氏名・生年月日が確認できる書類が必要(ご利用者ご契約者と同じ場合は不要です。※「ハーティ割引」や「タイプシンプル」の方もお申込みになれます(割引内容は異なります)。

応援学割

検索

*本割引の適用条件の詳細についてはドコモのホームページ(<http://www.nttdocomo.co.jp/>)またはドコモ取扱店へお問い合わせください。*表示金額はすべて税込です。

スマホがおもしろくなるほど、残念ながら、ながら歩きは危険になる。危険です、スマホのながら歩き。